

Press Release

報道用資料

2008年10月30日

自動車先進技術の中で消費者の支持を集めるのは、 安全装備では衝突時の乗員保護、環境・燃費技術ではハイブリッドエンジン

2008年日本自動車先進技術調査

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、略称：J.D. パワー、代表取締役会長兼社長：アルバート・ラパーズ）は、2008年日本自動車先進技術調査の結果を発表した。

当調査は、自動車先進技術に対する消費者の認知度、興味度および購入意向について調査するもので、45 にのぼる自動車先進技術・装備を対象としている。6回目となる今年の調査は、過去5年以内に新車を購入した一般の自動車（軽自動車を含む）ユーザーで購入決定に関与し購入車を主に運転している人を対象としている。7月上旬にインターネット調査を実施し5,228人から回答を得た。

◆ガソリン価格高騰後の SUV、ミニバンユーザーの車両ダウンサイジング意向は低い◆

ガソリン価格が高騰した後の SUV ユーザーとミニバンユーザーでは、ダウンサイジング意向がハイブリッド車の購入意向よりも低い結果となった。セダンユーザーや軽自動車ユーザーでは、ダウンサイジング意向とハイブリッド車の購入意向はほぼ同じであった。

ガソリン価格高騰後の SUV ユーザーとミニバンユーザーのダウンサイジング意向が比較的低いのは、車の大きさやキャパシティなどのベネフィットをユーザーが手放しがたいと感じているためだと考えられる。このことから、SUV ユーザーやミニバンユーザーは、燃料費の高騰をダウンサイジングではなくエンジンの低燃費化によって乗り切ろうとする傾向があると推察される。

◆衝突時に乗員を保護する技術と次世代燃料系技術が高い購入意向を獲得◆

調査対象の45の先進技術・装備のうち購入意向の上位10位に入ったものは次の通りである（3ページ図参照）。

リアサイドエアバッグ、ハイブリッドエンジン、多段式エアバッグ、むち打ちダメージ軽減シート、フロントサイド&カーテンエアバッグ、ニーエアバッグ、ノイズキャンセルシステム、プラグイン電気自動車、燃料電池車、リアパーキングアシスト

上位10位の中に、4つのエアバッグ関連技術とむち打ちダメージ軽減シートが入っており、衝突時に乗員を保護する技術に対して高い購入意向が寄せられていることがわかる。これらは昨年の調査でも上位10位以内に入っており、衝突安全技術に対するユーザーのニーズは安定して高いものとなっている。

衝突安全技術以外では、ハイブリッドエンジン、プラグイン電気自動車、燃料電池車といった次世代燃料系技術が上位10位のうち3つを占める結果となった。これらは、興味度についても全45技術中それぞれ1位、2位、3位となっており、ユーザーの注目度が高いことが窺える。

また、クリーン・ディーゼル・エンジンの購入意向は31%と、昨年から2.6ポイント、一昨年から16.6ポイント上昇した。認知度は昨年から5.1ポイント、一昨年から18.3ポイント上昇し72%となった。欧州市場ではディーゼル車のシェアが過半数となっている中、日本市場でもディーゼル車のポテンシャルが高くなってきていると言えるだろう。

今後、自動車販売の大きな拡大が見込めない中で、自動車の新技術導入にあたっては、技術的発見や技術的優位性だけでなくユーザーの顕在的、潜在的な欲求の未充足領域を満たす機能的、情緒的ベネフィットに着目することが一層重要となる。

*J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。プライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888 年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ（NYSE: MHP）は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界 40 カ国に 280 カ所以上の拠点を有し、2007 年の売上高は 68 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

クライアント・サービス グループ

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8060

F A X： 03-4550-8152

e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

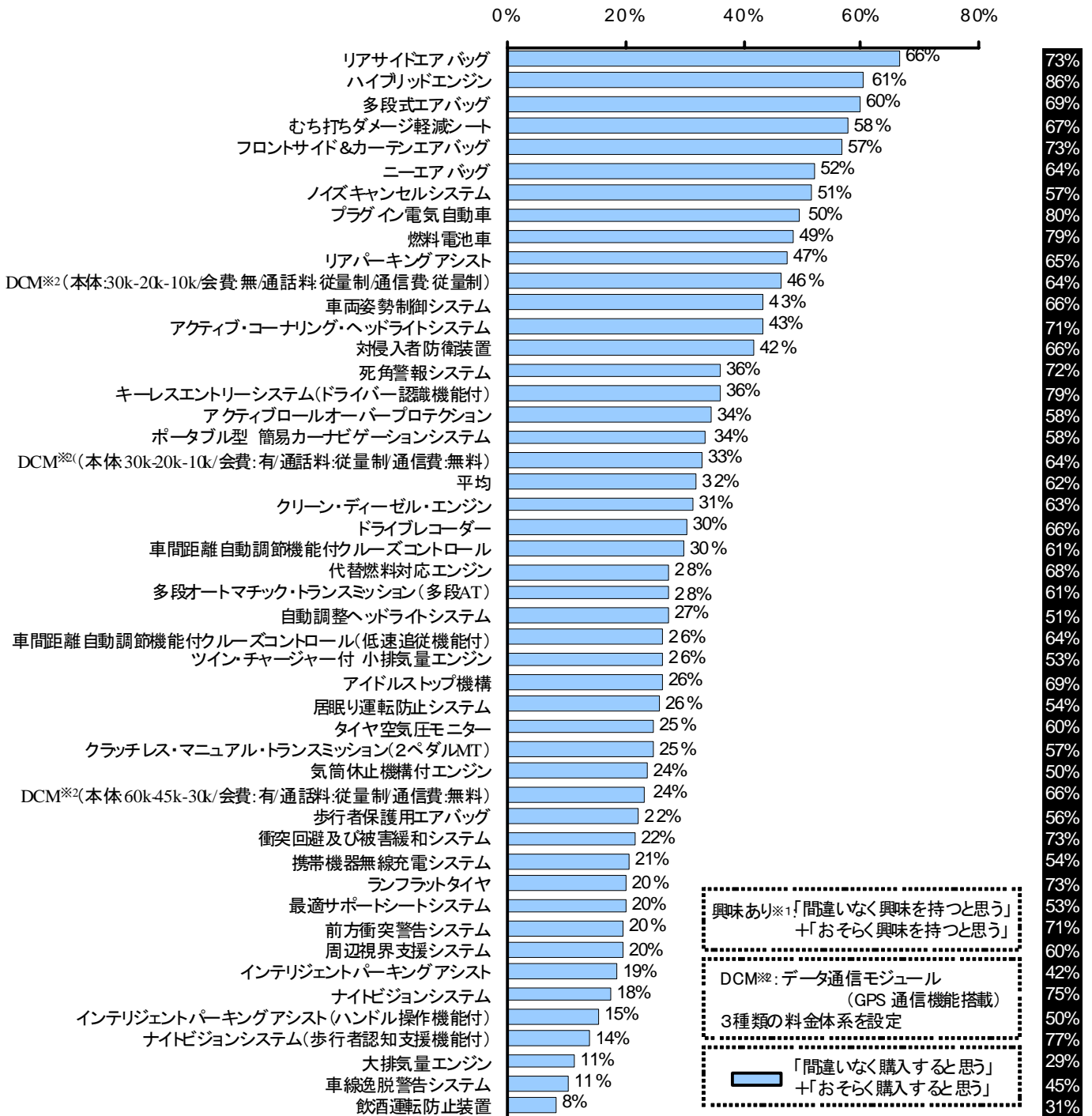
<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2008年日本自動車先進技術調査SM

購入意向 (複数価格提示結果の平均)

興味あり[※]
(価格提示前)



出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2008年日本自動車先進技術調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2008年日本自動車先進技術調査SM)を明記してください。